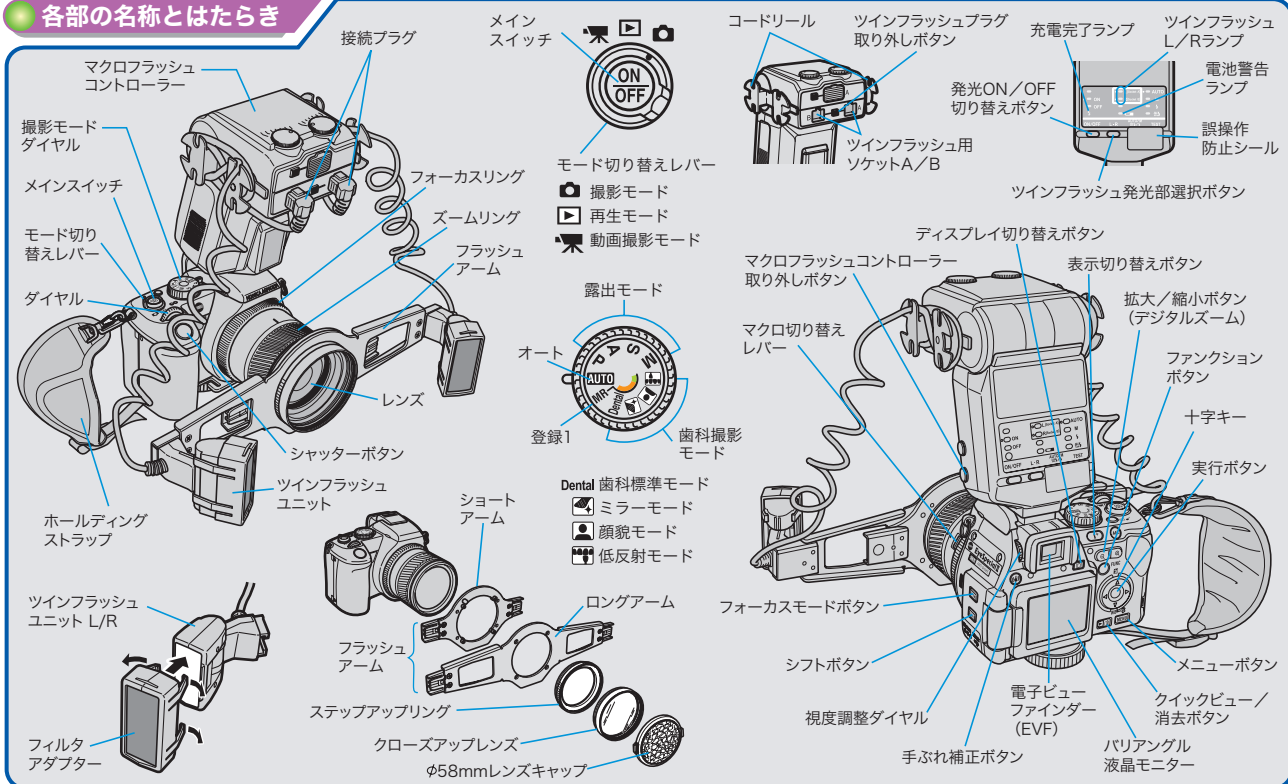


# EyeSpecial II アイスペシャルII かんたんガイド

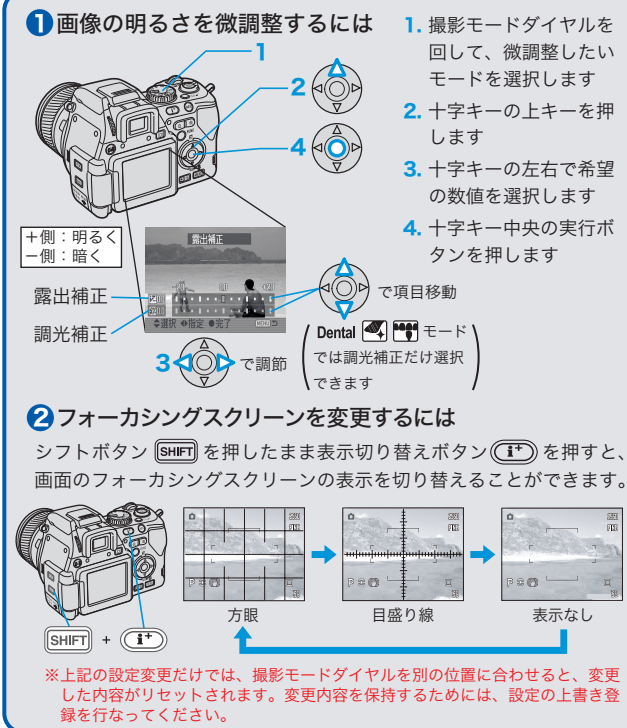
このかんたんガイドは、取扱説明書から簡易的な手順を抜粋して記載しています。詳しくは製品に同梱の取扱説明書をお読みください。  
また、ご使用の際は、取扱説明書「1.安全にお使いいただくために」の警告と注意を必ずお守りください。



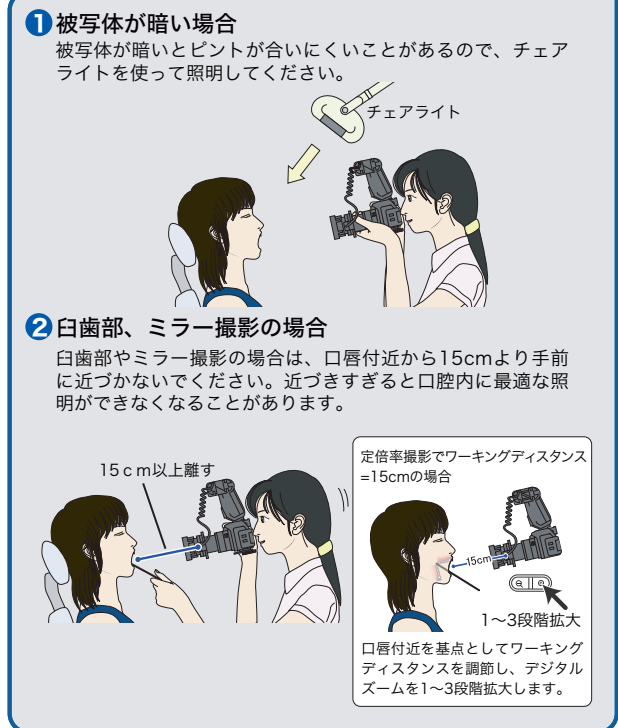
## 各部の名称とはたらき



## 設定変更について



## 撮影のポイント



## 歯科撮影モードについて

モード	用途	フラッシュのセット状態	撮影倍率とワーキングディスタンス
<b>歯科標準モード</b> Dental	ミラーを使用しない口腔内撮影、口元撮影、オベ時の記録撮影など 正面観、前側方観、口元、スマイルライン、オベ記録	フラッシュ取り付け位置と角度 ①(橙色)の位置に取り付ける ②(緑色)の目盛りに合わせる	マクロ撮影 通常撮影
<b>ミラーモード</b>	ミラーを使用した口腔内撮影全般 咬合面観、上顎口蓋側面観 <b>POINT</b> ミラー撮影時は、虚像のピント位置を基点としてワーキングディスタンスを合わせてください。	セット状態 (ロングアームを取り付ける場合)	撮影不可 マクロ領域 通常領域 Dental 撮影倍率 1/13~1/7 撮影倍率 1/13~1/7 撮影倍率 1/2~1/12 撮影倍率 1/13~1/24 (クローズアップレンズを外した場合) 0cm 約13cm 約30cm 約55cm 約110cm ワーキングディスタンス (レンズ先端から被写体までの距離) ・30cm前後の位置では、マクロ撮影でも通常撮影でもピントが合います。 ・デジタルズームを使用すると、さらに拡大して撮影することができます。
<b>顔貌モード</b>	顔貌、胸像、全身像などの広い範囲の撮影全般 顔貌、胸像 <b>POINT</b> 全身像を撮影するときは、クローズアップレンズを外してください。 ※表示される撮影倍率は無効な値になります。	セット状態 (ロングアームを取り付けない場合)	
<b>低反射モード</b>	前歯部の詳細撮影、前歯部シェードテイキング、石こう模型、技工物など 前歯部シェードテイキング、前歯部拡大、技工物、模型 ※石こう模型などの反射が強い被写体では、調光補正が必要な場合があります。	フラッシュ 取り付け位置と角度 ②(緑色)の位置に取り付ける ③(緑色)の目盛りに合わせる	

**基本撮影** (ここでは、オートフォーカスを使った基本の撮影方法について説明します。)

**1 電源をONにします**

1. カメラ本体の電源をONにして、モード切り替えレバーを📷に合わせます

2. マクロフラッシュコントローラーの発光ONランプを点灯させます

**2 撮影モードを選択します**

**POINT**  
リセットの習慣をつけましょう

一度別の場所に回してから元に戻すとリセット

知らないうちに設定を変更してしまふことがありますので、撮影モードを変更しない場合でも定期的に設定をリセットする習慣をつけましょう。

撮影モードダイヤルを回してモードを選択します  
※モードの詳細については裏面をご参照ください

**3 フラッシュ取り付け位置と角度を調節します**

**Dental** のとき

1) (橙色) の位置に取り付ける

2) (緑色) の位置に取り付ける

セット状態

選択したモードに合わせて、フラッシュの取り付け位置と角度を調整します

**4 フラッシュ発光部を選択します**

L・R両点灯…フラッシュ発光部 L・Rが発光する  
Lだけ点灯…フラッシュ発光部 Lだけが発光する  
Rだけ点灯…フラッシュ発光部 Rだけが発光する

発光部選択ボタンを押して、フラッシュの発光ON/OFFを切り替えます  
※通常はL・R両点灯でお使いください  
※片方だけを発光させるときは、ワーキングディスタンスは50cm以内でご利用ください

**5 撮りたい大きさに合わせてマクロ撮影/通常撮影を選択します**

この範囲の内側で撮るとき → **マクロ撮影**  
この範囲の外側で撮るとき → **通常撮影**

この範囲よりも拡大して撮影する場合は、デジタルズームを使用します

**6 カメラを構えて撮影します**

デジタルズーム倍率  
デジタルズーム使用中に表示されます

この場所にピントが合います

**ピント位置 (FFP) を移動させるには**

- 撮影モードで十字キー中央の実行ボタンを押します
- 十字キーの上下左右を押して、+ を移動させます
- 十字キー中央の実行ボタンを押して、+ の位置を確定させます。

1. 撮影方法に合わせてワーキングディスタンスを調整し、撮りたいものに合わせてズームリングや拡大/縮小ボタンを操作します

2. ピントを合わせたい場所に+を移動させて、シャッターボタンを半押しします

3. 画面右下に○が表示されたことを確認し、さらにシャッターボタンを押し込んで撮影します

**応用撮影** (ここでは、倍率を決めて撮影する「定倍率撮影」について説明します)

**1 撮影準備** 基本撮影の手順①～④と同様に撮影準備を行なってください

**2 撮りたい撮影倍率に適したデジタルズーム倍率と光学ズーム倍率を選択します**

※1/1.2倍より高倍率で撮影するときはデジタルズームを使用します

		デジタルズーム倍率												
		1.1	1.3	1.5	1.7	1.8	2.0	2.4	2.6	2.9	3.3	3.6	3.8	4.0
光学ズーム倍率	1/1.3	1/1.2	1.0	1.2	1.3	1.4	1.5	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0
	1/1.5	1/1.4	1/1.2	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6	1.7	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8
	1/2.0	1/1.8	1/1.5	1/1.3	1/1.2	1/1.1	1.0	1.2	1.3	1.5	1.6	1.8	1.9	2.0
	1/2.5	1/2.3	1/2.0	1/1.7	1/1.5	1/1.4	1/1.2	1/1.1	1.0	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6
1/3.5	—	1/2.8	1/2.5	1/2.2	1/2.0	1/1.8	1/1.5	1/1.4	1/1.2	1/1.1	1.0	1.0	1.1	

(例) 1.2倍で撮りたいとき…光学ズーム: 1/1.3倍、デジタルズーム: 1.5倍

**3 デジタルズーム倍率を選択します**

上記の手順②で選択したデジタルズーム倍率に合わせて拡大/縮小ボタンを押して、デジタルズーム倍率を調節します  
※デジタルズームを使用しないときはデジタルズーム倍率は表示されません

**4 光学ズーム倍率を調節します**

上記の手順②で選択した光学ズーム倍率に合わせてズームリングを回して、撮りたい撮影倍率の位置に▼を合わせ、マクロレバーを操作します

こちらの倍率を選んだときは、マクロレバーをカメラ側へ戻します

**5 距離を調整します**

上記の手順④で選択した光学ズーム倍率の右側にあるワーキングディスタンス (W.D.) 表示に合わせて、距離を調整します

※ワーキングディスタンスは目測でも合わせることができますが、次の方法を使うと簡単に合わせることができます。

- W.D.=15cmのとき
- W.D.=25cm, 30cmのとき
- W.D.=70cmのとき

**6 撮影します**

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます  
・画面右上に撮影倍率が表示されます
- 撮影倍率を微調整する場合は、カメラを前後させてから、再度シャッターボタンを半押しします
- 撮影倍率が決まったらシャッターボタンを押し込んで撮影します

**画像の確認・消去** (ここでは、撮影モード📷ですばやく画像を確認・消去する方法について説明します)

**撮影した画像を確認するには (クイックビュー)**

- 撮影後、クイックビュー/消去ボタンを押します
- 十字キーの左右を押して、見たい画像を選択します
- シャッターボタンの半押し、またはメニューボタンを押すと、撮影モードに戻ります

**画像を消去するには**

- 撮影後、クイックビュー/消去ボタンを押したら、十字キーの左側を押して「はい」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押すと、元の撮影モードに戻ります
- 下の画面が表示されたら、十字キーの左側を押して「はい」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押すと、元の撮影モードに戻ります
- もう一度クイックビュー/消去ボタンを押します
- シャッターボタンの半押し、またはメニューボタンを押すと、元の撮影モードに戻ります

